

バレーボール競技(知的部門)申し合わせ事項

開催日：令和6年6月1日(土)

会場：駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場

競技規則

本項に定める以外は、令和6年度公益財団法人日本パラスポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

競技上の規定および注意事項

- (1) 公益財団法人日本バレーボール協会競技規則による。
- (2) 得点は25点のラリーポイント制とする。
- (3) リベロ制を導入する。但し、採用については各チームの判断による。
- (4) ゲームは3セットマッチとし、2セット先取したチームを勝ちとする。得点が「24対24」の同点となった場合、それ以降は、2点リードしたチームをそのセットの勝者とする。参加チーム数と競技時間、選手の過負担に配慮する意味で、3セットになった場合は、15点とする。
- (5) その他、競技規則に関する打ち合わせは、大会当日の監督者会議で行う。
- (6) ネットの高さは、男子 2m30cm、女子 2m15cmとする。
- (7) 競技は6人制で行う。
- (8) 使用球は、検定5号球（男子：ミカサ製カラーボール V300W、女子：モルテン製カラーボール V5M5000）とする。
- (9) タイムについては、テクニカルタイムアウトは適用せず、各セットにつき各チーム最大2回のタイムアウトを要求することができるものとする。
- (10) 組み合わせ抽選は、大会実行委員会で事前に責任抽選にて決定する。
- (11) スタッフについて
 - ① スタッフは、監督、コーチ、マネージャーの各1名とする。
 - ② 監督、コーチ、マネージャーのコスチュームを統一すること
基本的に上衣、下衣ともにデザインの統一が必要である。また、下衣は、ハーフパンツ等丈の短い物は認められない。
 - ③ 監督、コーチ、マネージャーの資格について
学校チームは学校の教員等であることが原則である。社会人チームについては、そのチームの関係者であれば特に資格は問わない。

その他

- (1) 競技方法や開閉会式のやり方、招集方法、表彰等に変更が生じる場合がある。

※大会プログラムは、事前に発送する。